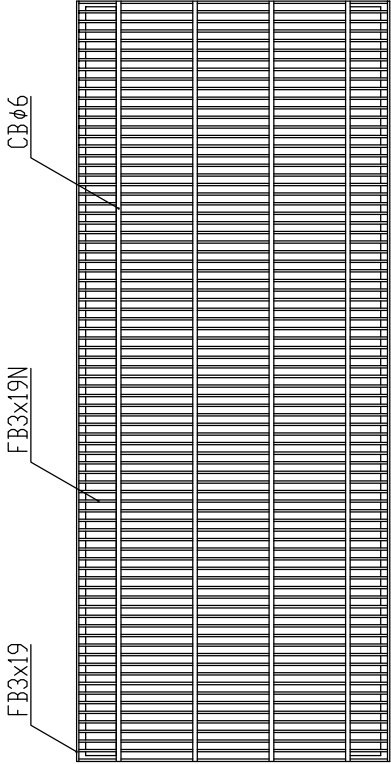
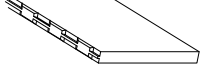
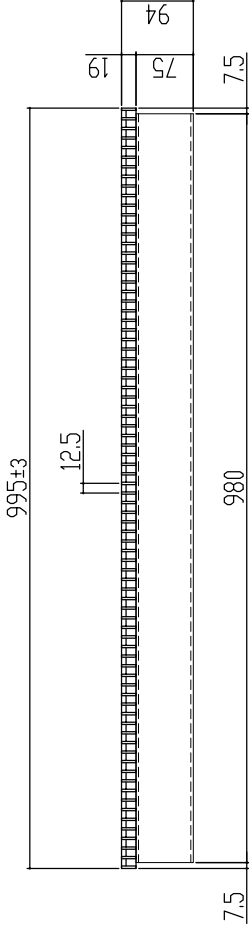
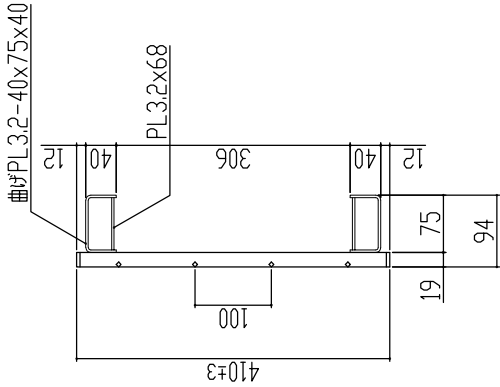




車両進行方向(側溝)



本体重量 27.2kg

主部材詳細図 表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)

訂正年月日	訂正番号	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	承認印	検査印	製図	図面名称	
	標準製作図面						平元	松本	かさ上げJIS道路側溝用(スチール)グレーチング 溝幅300用 細目/onslip	
	試作図面						山口	松本	T-2 NHJK95-193N-3	
	特注図面						材質	数量	図番	
									MKG-L-251-2	
									株式会社 マキテック MK駐輪事業部	

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品 名	NHJK95-193N-3
	製品寸法	410x995x19+75
	主部材	FB-3 × 19
	断面係数	Z= 0.18 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-2	支点間距離	L = 306
	後輪一輪荷重	P = 8000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 180$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 12.5 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 160 mm		

3
強
度
計
算

1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。

$$\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$$

$$\omega = 8000 \times (1 + 0) \times 12.5 / 32000$$

$$\omega = 3.13 \text{ (N/mm)}$$

2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。

$$M = \omega \times 0.5 \times b \times (L - 0.5 \times b) / 2 \quad \text{より}$$

$$M = 3.13 \times 0.5 \times 160 \times (306 - 0.5 \times 160) / 2$$

$$M = 28,295 \text{ (N・mm)}$$

3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。

$$\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$$

$$\sigma_b = 28,295.2 / 180,000$$

$$\sigma_b = 157.20 \text{ (N/mm}^2\text{)}$$

従って、許容応力 $\sigma_b = 180$ (N/mm²) に対し、

$$\underline{\underline{157.20 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 180 \text{ (N/mm}^2\text{)}}}$$

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--